

事業報告書

令和 7 年度事業報告

本法人では、昭和 62 年 4 月の養和荘の開所以降、順次施設整備等を行い、令和 7 年度は 14 の拠点において延べ 33 事業に取り組みました。

基本理念である「選ばれる事業所・親しまれる事業所」に基づき、春日井市を中心とした尾張北部地域における障害福祉事業の担い手として、障害のある方々がより安心して暮らせるよう安全かつ適正なサービスを提供すると共に、経営基盤の安定化、健全な法人運営に努め、サービスの質や職員の資質の向上を図りました。

令和 7 年度の主な事業実績につきましては、以下のとおりです。

なお、各拠点別の事業報告明細書は、別添のとおりです。

1 中期計画の推進

前計画において、今後の施設・事業所運営の指針となる四つの基本方針に沿って定めた目標の達成、着実な推進に向け、基本方針ごとに設けた委員会において取組を進めました。

なお、計画最終年度であることから目標の達成状況について確認、検証を行い、その結果等を反映して新たな計画を策定しました。

(1) 前計画（計画期間：令和 3 年度から令和 7 年度まで）

基本方針	委員会名	委員会の主な取組内容（7 年度）
I サービスの質の向上	サービス向上	人権尊重と虐待防止(情報交換会)、リスクマネジメント対策(統計分析)、災害・感染症対策(研修、訓練)、個別で専門的な支援(強度行動障害、地域移行、高齢化、一般就労等) 等
II 地域貢献	地域貢献	専門性を発揮した地域貢献、公益的な取組(施設の地域開放、障害の理解促進、福祉の仕事の啓発、福祉体験)、災害時における地域貢献(利用者引渡し訓練等) 等
III 人材の育成	人材育成	研修制度の構築、人材の定着、働き甲斐のある魅力ある職場づくり(法人内職員交流会、職員ボランティア(在職者交流会)の募集)、業務負担軽減等(ICT の活用)、法人 SNS の充実 等
IV 健全で透明性の高い運営	経営会議	

(2) 新たな計画（計画期間：令和 8 年度から令和 12 年度まで）

基本方針	主な取組
I 関わる人すべてが幸せになる運営	本人主体とした支援力の向上、本人のライフステージに応じたサービスの提供 等
II 共生社会の実現	特色や専門性を発揮した地域貢献、災害時や緊急時の連携と協力体制の構築 等
III 誇りを持てる組織マネジメント	キャリア段階別研修カリキュラムの充実、DX 推進の取組 等

2 財政基盤の安定

収入の大半を占める障害福祉サービス等事業収入については、昨年度とほぼ同額となりました。

支出では、人件費において、愛知県補助金を活用して特別賞与や、特別手当を支給した他、人事院勧告に準じ賞与を 0.05 月分上乗せしたこと等から昨年度より増加し、事務費においても修繕費等が上回ったことにより増加しました。また、設備や機器に加え、公用車の更新などで固定資産取得支出が昨年度より増加しました。

なお、将来の施設設備の修繕や備品の更新などに備えるため、昨年度同様に、従来のグループホーム家賃相当分等に加え、基本財産の当期減価償却費のうち自己資金に相当する額を積立資産に積み増しを行いました。

全体としては、前期と比較し、収入がほぼ同額であったのに対し、支出において人件費等が増加したため、当期の資金収支差額は約 1 億円減少の約 9 千 5 百万円となりました。

3 人材の確保・育成

新卒者 10 名程度の採用や年度途中での退職による欠員補充ができるよう、複数の就職情報サイトの活用や就職説明会への参加により求人活動を行うと共に、職員の定着や職員のスキルアップを図るため処遇改善手当の支給や研修の充実に努めました。

また、職員確保の推進を図るため、将来の外国人採用を視野に、「法人保証規程」及び「介護福祉士養成施設奨学金貸与規程」を制定しました。

(1) 職員の採用（正規職員）

令和 7 年 4 月 2 日～令和 8 年 3 月 31 日 採用 7 名(支援員 5 名、事務員 2 名)

令和 8 年 4 月 1 日採用 12 名(施設長 1 名、支援員 10 名(うち 1 名契約から転換)、相談員 1 名)

(2) 職員の退職（正規職員）

令和 7 年度中退職者 16 名（定年 4 名、自己都合 12 名）

(3) 職員の処遇改善

障害福祉人材確保・職場環境改善等事業費補助金により、6 月賞与において正規職員一人当たり 52,000 円（契約職員一人当たり 45,000 円）を特別賞与として支給しました。

また、障害福祉従事者処遇改善緊急支援事業費補助金により、12 月から 3 月まで正規職員一人当たり月額 10,000 円（契約職員一時間当たり 50 円）を特別手当として支給しました。

(4) 職員研修の充実

ア 新規採用職員研修（9 名）とフォローアップ研修（8 名）の実施

イ 知的障害を理解するための基礎講座（7 名）

ウ 知的障害援助専門員養成通信教育の受講（13 名）

エ 新任副主任研修の実施（令和 7 年度昇格者 10 名）

オ 新任主任研修（愛知県社会福祉協議会）への参加（2 名）

カ 社会福祉法人会計実務講座（全国社会福祉法人経営者協議会）への参加（1 名）

キ 日本知的障害者福祉協会・愛知県知的障害者福祉協会等が主催する研修に参加

(5) 職員確保を推進する規程の整備

ア 法人保証規程

愛知県社会福祉協議会介護福祉士等修学資金貸付事業の貸付を希望し、介護福祉士養成施設において修学する外国人留学生に対し、連帯保証人となり支援する。

イ 介護福祉士養成施設奨学金貸付規程

介護福祉士養成施設において修学する学生に対し、奨学金を貸与して支援する。

4 会議等の開催

事業報告・収支決算や事業計画・収支予算の審議及び理事長の職務執行状況の報告等のため、理事会を 4 回、評議員会を 3 回開催しました。

(1) 理事会

開催日		議 題 等
1	5 月 29 日	【議題】①令和 6 年度計算書類・事業報告(附属明細書含む)及び財産目録の承認 ②職員給与規程の改正 ③令和 7 年度第 1 次収支補正予算(案) ④はるひ荘結露対策工事に係る発注先の選定、契約条件及び請負契約の

		締結⑤定時評議員会の開催 【報告事項】①理事長の職務の執行状況②令和7年度第1回評議員選任・解任委員会の開催結果③職員の懲戒処分
2	6月18日	【議題】①理事長の選定②評議員選任・解任委員の選任③苦情解決第三者委員の選任④法人運営貢献者の表彰
3	11月13日	【議題】①令和7年度事業計画（さいおワークス拠点及びわかば拠点）の変更②組織規程及び経理規程の一部改正③令和7年度第2次収支補正予算(案)④令和7年度第2回評議員会の開催⑤役員賠償責任保険 【報告事項】①理事長の職務の執行状況②中間監事監査の結果
4	3月12日	【議題】①規程の制定（法人保証規程、介護福祉士養成施設奨学金貸付規程）及び一部改正（職員給与規程、役職員旅費支給規程）②令和7年度第3次収支補正予算(案)③新たな中期計画(案)④令和8年度事業計画(案)及び収支予算(案)⑤令和8年度資金運用計画⑥令和7年度第3回評議員会の開催⑦幹部職員の人事異動 【報告事項】①職員等の採用・退職の状況②法人ロゴマーク③令和8年度社会福祉法人養楽福祉会監事監査計画

(2) 評議員会

開催日		議 題 等
1	6月18日	【議題】①令和6年度計算書類及び財産目録の承認②令和7年度第1次収支補正予算(案)③役員の改選 【報告事項】①令和6年度事業報告②理事長の職務の執行状況③令和7年度第1回評議員選任・解任委員会の開催結果④職員の懲戒処分
2	11月28日	【議題】①令和7年度事業計画（さいおワークス拠点及びわかば拠点）の変更②令和7年度第2次収支補正予算(案) 【報告事項】①理事長の職務の執行状況②中間監事監査の結果
3	3月30日	【議題】①令和7年度第3次収支補正予算(案)②新たな中期計画(案)③令和8年度事業計画(案)及び収支予算(案)④役員の選任 【報告事項】①幹部職員の人事異動②職員等の採用・退職の状況③法人のロゴマーク④令和8年度社会福祉法人養楽福祉会監事監査計画

(3) 評議員選任・解任委員会

開催日	議 題 等
4月15日	【議題】任期満了に伴う評議員の選任

(4) 監事監査

実 施 日	監 査 内 容
5月16日	令和6年度決算監査
10月6日・16日・22日	各施設等の巡回業務監査

(5) 運営会議

運営会議を年12回開催し、各施設の現況を共有すると共に、経営改善・事業間調整・サービス向上など施設運営に関する重要事項を協議しました。

5 経営・労務管理の改善

平成28年度から公認会計士の助言・指導を受けながら、各種規程や資産管理の見直しなど経営・労務管理の改善に取り組んでおり、令和7年度においても、公認会計士による業務手順書の運用状況の検証や事務局との意見交換を実施し、専門家の知見を生かした経営・労務管理の改善に努めました。

6 苦情解決体制の整備

「社会福祉法人養楽福祉サービスに関する苦情解決規程」に基づき、苦情解決のための体制を整えており、令和 7 年度は、養和荘に個人情報の取扱いに関し 1 件の苦情が寄せられました。

調査の上、苦情受付担当者から謝罪や再発防止対策の説明により納得いただくと共に、関係職員への指導を行い、職員間での情報共有を図りました。

今後とも職員の意識を高め利用者、家族への丁寧な対応に努めてまいります。

7 サービス評価の実施

福祉サービスの質の向上を図るため、平成 27 年度から「福祉サービス第三者評価」を受審しており、令和 7 年度は、はさま、なかぎりワークス、わかばで実施しました。

8 障害者虐待防止

「虐待防止対応規程」に基づき、虐待の未然防止や虐待発生時における迅速な対応と虐待の検証、再発防止策の検討を行いました。

虐待通報が 1 件ありましたが、関係市の現地調査の結果、虐待認定には至りませんでした。

こうした通報事案の他、日々の支援を行う中で職員が気づいた事項について、施設・事業所の虐待防止委員会において検証し、再発防止策を講ずると共に、法人全体で検証結果等を共有しました。

9 感染予防対策

新型コロナウイルス感染症、季節性インフルエンザ等の感染症について、入所施設で感染者が確認された場合は、個室内での療養を基本とし、施設内での更なる感染拡大が起こらないようフロア単位での感染拡大防止策を講ずると共に、日常においては、マスクの着用、手指の消毒、換気の励行といった基本的な対策を行いました。

10 事業継続計画(BCP)の整備等

令和 5 年度までに策定した BCP に基づき、入所施設及び通所事業所において行った訓練などを踏まえ、令和 7 年度は職員参集場所の見直しなど、全面的な改訂を行いました。

11 ICTの推進

令和 5 年度及び令和 6 年度に通所事業所及びグループホームに導入した記録管理システムにより、業務の効率化及び事業所内の情報共有を図りました。

また、令和 5 年度から導入を始めた人事評価システムを全面活用すると共に、将来の労務管理システムの導入など、バックオフィス業務の更なる効率化に向けた検討を行いました。

12 借入金返済

借入先	年度当初借入残高	借入額	償還額	年度末借入残高
福祉医療機構	783,159 千円	0 千円	70,368 千円	712,791 千円
瀬戸信用金庫	312,067 千円	0 千円	29,556 千円	282,511 千円
合 計	1,095,226 千円	0 千円	99,924 千円	995,302 千円

13 施設整備積立金

前年度末積立額	年度中積立額	年度中取崩額	年度末積立額
377,066 千円	115,588 千円	0 千円	492,654 千円
◎運用状況等（令和 8 年 3 月 31 日）			
前年度末積立額のうち 3 億 7,490 万円は、将来発生する大規模修繕資金等に充てるため、令和 4 年及び令和 7 年において償還期間 5～7 年の社債で運用しています。			
年度中積立額としては、当期基本財産減価償却額のうち自己資金相当額、GH 家賃相当額及び寄附金を積み立てました。			

事業報告附属明細書（地域サポートセンター）

障害がある方の地域生活をサポートするために、共同生活援助事業、地域活動支援センター事業を実施しました。事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 共同生活援助事業（グループホーム）

（1）利用実績

坂下・さいお・王子・花桃の4事業所13ユニット、利用定員73名で事業を実施しました。

利用率については、令和6年度と比べて1.5%ほど減少しています。要因としては、GH坂下と王子の空床が埋まらなかったことによるものです。

事業所	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1日平均利用者数
坂下	20名	令和7年度	365日	6,160名	84.38%	16.87名
	20名	令和6年度	365日	6,465名	88.56%	17.71名
さいお	16名	令和7年度	365日	5,232名	89.58%	14.33名
	16名	令和6年度	365日	5,241名	89.74%	14.35名
王子	19名	令和7年度	365日	5,135名	74.04%	14.06名
	19名	令和6年度	365日	5,193名	74.88%	14.22名
花桃	18名	令和7年度	365日	5,447名	82.90%	14.92名
	18名 (内2名は体験)	令和6年度	365日	5,485名	83.48%	15.02名
合計	73名	令和7年度	365日	21,974名	82.46%	60.20名
	73名	令和6年度	365日	22,384名	84.00%	61.32名

（2）入退居状況

在宅及び、養楽荘（入所施設）からの入居者が3名、高齢化・重度化、体調不良による退居者3名でした。

入 居			退 居		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
7月1日	1名	養楽荘より（つぐみ）	6月24日	1名	・（つぐみ）療養施設へ入所のため
11月1日	1名	在宅より（つぐみ）	8月31日	1名	・（ひばり）高齢化により養楽荘へ
11月20日	1名	養楽荘より（ひばり）		1名	・（さいお）重度化により養和荘へ

(3) 行事

- ・外出（11月2日、9日）

土日の余暇を利用し、2グループに分かれて名古屋城へ出かけました。違うホームの利用者同士で交流を図ることができました。

- ・外注食（月に1度）

利用者のリクエストに応じ、外注食を実施しました。ピザやハンバーガー、唐揚げ弁当など好みのものを注文し、いつもと違う食事を楽しみました。

- ・グループホーム交流会（2月21日）

全ホームの利用者・保護者・世話人・職員が集まり、食事会で交流を図りました。保護者会によるビンゴゲームやカラオケ大会などを楽しみました。

- ・地域行事への参加

地域のクリーン作戦（清掃）や防災訓練、餅つきイベントなどに参加し、地域での交流を図りました。

(4) 健康管理

病気の早期発見・予防のために、しんまちクリニックと提携し看護師による GH への定期巡回を行いました。また、希望する利用者にはしんまちクリニックの訪問診療・さくら歯科の訪問歯科を利用し、通院の負担軽減だけでなく、緊急時に対応してもらえる安心感に繋がっています。

感染予防対策として、手洗い、消毒、換気の励行に努めましたが、新型コロナウイルスは延べ11名、インフルエンザは7名の陽性が確認されました。発生したユニットでは居室で静養していただき、感染の拡大防止を図ると共に、生活支援員が事業所へ向かい、日中支援を行いました。

【感染症発生状況】

発生状況		時 期	ホーム	陽性者合計
コロナウイルス		4月4日～4月10日	坂下・さいお	2名
		4月14日～4月24日	さいお	3名
		7月17日～7月22日	ひばり	1名
		8月7日～8月16日	中切・さつき	2名
		9月3日～9月10日	さくら・中切	2名
		9月13日～9月18日	ひばり	1名
		小計		11名
インフルエンザ	A 型	11月7日～11月16日	さつき・めじろ・さいお	3名
		12月5日～12月9日	さいお	1名
	B 型	12月27日～12月31日	さいお	1名
		1月3日～1月7日	さいお	1名
		2月3日～2月7日	さくら	1名
		小計		7名
合計				18名

利用者のうち、入院は3名でした（偽関節形成、股関節の手術、癌）。いずれも、看護師を中心に往診医・家族・病院と連携を図り対応しました。

2 地域活動支援センター事業（土日）

グループホーム利用者を中心に、定員 19 名で土日の日中活動を支援しました。感染症発生時や、生活支援員の確保が難しい場合には、各ホームでの日中支援を実施しました。

活動内容は、ドライブや外出、買い物などの社会参加を促進し、余暇の充実やリフレッシュにつながるよう努めました。

年 度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均 利用者数
令和 7 年度	103 日	1,351 名	69.03%	13.11 名
令和 6 年度	100 日	1,608 名	84.63%	16.08 名

3 防災・防犯対策

下記のとおり避難訓練を実施しました。

グループホーム	火災想定 各ユニット 1 回
	地震→火災想定 各ユニット 1 回
	風水害想定 対象ユニット（つばき・さつき、さくら、中切、下条）各 1 回
地域活動支援センター	地震→火災想定 1 回

4 虐待防止・身体拘束適正化委員会

委員会を 3 回開催し、世話人への研修の実施方法について議論しました。また、研修においては、センター職員・世話人全員が同じ動画を視聴し、虐待についての理解を深め、早期発見や予防のための知識とスキルを習得できるよう努めました。

5 地域との連携

地域連携推進会議を下記の日程で実施し施設の事業内容についての説明・意見交換をしました。また、別日でホームの見学会を行いました。

事業所	推進会議	見学会
グループホーム坂下	9 月 22 日（月）	グループホーム坂下：11 月 14 日（金） グループホーム下条：11 月 17 日（月） グループホーム中切：11 月 18 日（火）
グループホームさいお	9 月 24 日（水）	グループホームさいお：11 月 20 日（木）
グループホーム王子	9 月 29 日（月）	グループホーム王子：11 月 21 日（金） グループホーム虹：11 月 25 日（火）
グループホーム花桃	9 月 30 日（火）	グループホーム花桃：11 月 26 日（水）

事業報告附属明細書（総合相談支援センター）

障害のある方が住み慣れた地域において、その人らしく、より充実した生活を実現できるよう、春日井市相談支援事業（委託相談）、指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業（計画相談）、指定一般相談支援事業（地域移行支援・地域定着支援）、障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業・生活支援等事業）について、関係機関との連携を図りながら一体的に推進しました。事業の実施状況及び実績については、以下のとおりです。

1 障がい者生活支援センターかすがい

（1）春日井市相談支援事業（委託相談）

春日井市の委託を受け、社会福祉士等の資格を有する相談員 3 名（専従 2 名・兼務 1 名）を配置し、市内在住の主に知的障がいのある方等に対して、必要な情報提供や関係機関との連絡調整等を行う基本相談支援を実施しました。支援にあたっては、電話相談や関係機関との連絡調整を中心に行いつつ、必要に応じて家庭訪問や同行支援を実施するなど、利用者の生活状況に応じた柔軟な対応に努めました。相談内容の主なニーズとしては、福祉サービスの利用、健康・医療、家族関係や人間関係に関するものが多く、これらに対して関係機関との連携やサービス利用に向けた調整等を行いました。なお、地域生活支援拠点の機能としては、土日のセンター開所に加え、緊急時における相談支援体制の確保や、市内グループホームの体験利用に向けた調整に取り組みました。

	令和 7 年度	令和 6 年度	前年度比
相談件数	1,682 件	1,629 件	103.25%
相談者数（新規）	171 人	211 人	81.04%

（2）指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業（計画相談）

障害の種別を問わず、必要な障害福祉サービス等につなげるための計画相談については、上記（1）との兼任者を含め、研修（初任者・現任者）修了者 5 名の体制で実施しました。相談支援専門員としての資質向上を図るため、事業所内での月 1 回の事例検討会を継続して開催するとともに、外部研修にも参加し、支援の質の向上に努めました。計画相談の実施件数は減少した一方で、モニタリング、集中加算及びモニタリング単独加算は増加しており、利用者の生活状況の変化に応じたきめ細やかな支援や、関係機関との連携強化がより一層求められる状況となりました。

	計画相談	モニタリング	集中加算及び モニタリング単独加算
令和 7 年度	433 件	1,048 件	392 件
令和 6 年度	506 件	914 件	305 件
前年度比	85.57%	114.66%	128.52%

（3）指定一般相談支援事業（地域移行支援・地域定着支援）

地域移行支援については、長期にわたり精神科病院に入院されている方に対し、関係機関と連携しながら集中的な相談支援を実施しました。その結果、地域生活への移行に向けた支援を進めることができ、相談支援件数は前年度を上回りました。一方、地域定着支援については、令和 7 年度においても相談実績はありませんでした。

	地域移行支援	地域定着支援
令和 7 年度	5 件	0 件
令和 6 年度	4 件	0 件
前年度比	125.00%	---%

2 尾張北部障害者就業・生活支援センターようわ（雇用安定等事業・生活支援等事業）

国（労働局）及び県（福祉局障害福祉課）より委託を受け、主任就業支援ワーカー1名、就業支援ワーカー4名、生活支援ワーカー1名の体制で、障害のある方の就業面及び就業に伴う生活面について一体的な支援を実施しました。相談内容の傾向としては、昨年度に引き続き複数の課題が重複する困難ケースの増加に伴い、支援負担の増大が課題となってきたため、必要に応じて相談員 2 名体制で対応しました。また、コミュニケーション手段の多様化に伴う対人関係上の課題や金銭管理に関する課題も引き続き見受けられ、生活全般を見据えた支援の必要性が高まっています。実績面では、企業や関係機関からの相談が増加しました。職場実習件数は概ね横ばいで推移し、就職者件数はやや減少したものの、職場定着率は引き続き高い水準を維持することができました。また、通常の相談支援に加え、一般企業や就労系事業所等とのネットワーク構築を目的とした会議や講演会への講師派遣等を計 7 回実施するとともに、在職中の登録障害者等を対象とした交流活動やピア・サポート活動は計 4 回開催し、就労定着の促進に取り組みました。

	令和 7 年度	令和 6 年度	前年度比
登録者	923 名	917 名	100.65%
相談件数	※7,227 件	6,427 件	112.44%
職場実習件数	52 件	51 件	101.96%
就職者件数	84 件	97 件	86.59%
職場定着率	80.0%	82.8%	96.61%

※相談件数内訳（R7：登録者：3,701 件、関係機関：1,238 件、事業主：2,288 件）

3 その他

（1）感染症対策

感染症対策委員会を定期的開催し、食中毒予防や手洗いに関する研修を実施しました。

（2）防災・防犯対策

大規模災害に備え、業務継続計画（BCP）の見直しを行い、職員へ周知しました。また、防犯対策としては録画機能付インターホンモニター（親機・子機）への更新及び緊急用非常ボタンを 2 か所設置しました。

（3）学生実習

社会福祉士を目指す学生 1 名（延 23 日間）を受け入れました。また、社会福祉士実習指導者講習会に相談員 1 名が参加し、実習受入体制の強化を図りました。

事業報告附属明細書（障害者支援施設 養和荘）

生活介護事業（定員 75 名）、施設入所支援事業（定員 75 名）、短期入所事業（定員 5 名）を提供してきました。事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 利用者実績

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
生活介護	75 名	令和 7 年度	269 日	19,140 名	94.86%	71.15 名
		令和 6 年度	269 日	20,027 名	99.26%	74.44 名
施設入所	75 名	令和 7 年度	365 日	25,966 名	94.85%	71.13 名
		令和 6 年度	365 日	27,068 名	98.87%	74.15 名

2 入退所状況

入 所			退 所		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
8 月 1 日	1 名	在宅から	4 月 20 日	1 名	死亡
9 月 4 日	1 名	在宅から	5 月 8 日	1 名	死亡
9 月 5 日	2 名	障害児入所施設から	5 月 14 日	1 名	死亡
			5 月 20 日	1 名	死亡
			6 月 11 日	1 名	ナーシングホームへ
			7 月 11 日	1 名	長期入院
			2 月 2 日	1 名	第二養和荘へ

3 支援内容

（1）個別支援計画・支援手順書

個別支援計画に沿った支援を行い、支援手順書で支援の統一を図ってきました。6 か月に 1 回更新を行い、面談を中心に実施しました。

（2）健康管理

利用者の健康管理を以下のとおり実施しました。

5 月 20 日	利用者健康診断	名古屋公衆医学研究所検診車
10 月 21 日	利用者健康診断	名古屋公衆医学研究所検診車
11 月 19 日	インフルエンザ予防接種	出川もりクリニック
月 1 回	嘱託医来所、健康相談	岡川医師
月 1 回	内科医による診察	出川もりクリニック

感染症予防対策として手指消毒、マスクの着用等実施していましたが、インフルエンザに延べ利用者 21 名、職員 15 名が罹患し、新型コロナウイルスに延べ利用者 23 名、職員 15 名が罹患しました。施設内療養により、利用者支援を継続しました。

(3) 食事

施設の管理栄養士がメニューを立て、キッチン高森に委託して食事提供をしました。

また、栄養マネジメントの観点から、利用者毎に食事形態・カロリー・嗜好などを配慮した献立作りも行ってきました。

(4) 入浴

週 6 回程度で、昼入浴・夜入浴に分かれて入浴をしていただきました。併せて健康チェックとして、皮膚の状況や打撲等の確認も行いました。

(5) 日中活動

利用者の発熱等があり棟閉鎖を実施するたびに、活動班（療育、運動、スノーズレン、園芸、創作）が中止になったり、開始時間が遅れたりすることが多くなってきたため、フロアごとの活動を行うように見直しを図り、9月からフロアごとの活動を実施しました。フロア活動においても、歩行や園芸、創作、自立課題等を行いました。創作活動では、作品展に出展し、2名の方が入賞しました。

フロアの活動班とは別に、ヒップホップや音楽療法を行いました。ヒップホップについては、ステージ発表も行いながら、新たな振り付けにも挑戦したりしました。利用者さんの体力等によりメンバーの入れ替えもありました。音楽療法士による音楽療法については、季節の曲を中心に利用者の特性に合わせた内容を行いました。

(6) 環境整備

日常の清掃も含め清潔で安全な生活環境が提供できるよう早期対応してきました。

(7) 虐待防止・身体拘束適正化

虐待防止委員会を中心に、毎月のセルフチェック、内部研修を毎月の会議の際に実施しました。

4 短期入所事業

新規契約も行いましたが、利用者の入所やGH入居に伴い、去年度同様、利用率が下がりました。

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1日平均利用者数
短期入所	5名	令和7年度	365日	1,159名	63.50%	3.17名
		令和6年度	365日	1,344名	73.64%	3.68名

5 防災防犯対策

災害発生時に利用者・施設来荘者の生命を守る事を最優先に訓練を実施しました。春日井市消防署東出張所と情報交換会を実施しました。また、新規採用者、異動職員に対しては緊急避難用マットレスの体験も実施しました。防犯対策では、防犯マニュアルを基に、防犯機器の取り扱い研修を行ってきました。

実施日	訓練内容
5月30日、他7回	夜間想定火災避難誘導・通報訓練
9月1日	総合防災訓練（日中想定火災避難誘導）
10月7日～14日	躯体確認訓練

6 施設連携

入所施設（養和荘・第二養和荘・養楽荘・はるひ荘）間で、施設長会、各委員会（虐待防止・身体拘束適正化、感染症対策、BCP、地域移行、研修）活動を実施しました。法人のスケールメリットを活かした、研修の連携、情報共有、課題検討等を行いました。

7 その他

（1）施設行事

テイクアウトではなく、地域の店に外食に行きました。また、小グループ外出も再開しました。

実施日	行事等	行先・開催場所
8月28日	夏まつり	養和荘会議室（かき氷・魚釣りや射的を楽しむ）
11月8日	ふれあいまつり	グラウンド（保護者とともにステージを楽しむ）
10月6日他	秋の行楽	南知多サポートイン（温泉と食事を楽しむ）
12月25日	クリスマス会	養和荘各フロア
1月9日	もちつき	養和荘多目的室
1月10日	新年会	養和荘多目的室（食事会）
8月8日他	買物	養和荘多目的室（移動販売）
外食	カフェはなもも、スシロー、ブロンコビリー、ココ壱番屋、ロイヤルホスト等	
外出	東山動植物園、名古屋港水族館、名古屋城、リトルワールド等	

（2）地域移行

面談等でご本人、保護者・後見人へ地域移行等確認担当者より希望を確認していきました。

（3）地域との連携

地域連携推進会議を2回実施し、10月28日は施設の事業内容について説明し、意見交換をしました。3月4日には施設見学を行いました。

地域開放については、今年度はグラウンドの貸出希望はありませんでした。

事業報告附属明細書（障害者支援施設 第二養和荘）

施設入所支援事業（定員 40 名）、生活介護事業（定員 40 名）、短期入所事業（定員 2 名）を実施しました。高齢知的障害者の支援施設として、利用者が快適な日常生活を送ることができる環境を提供するために、個々の生活習慣を尊重するように心掛け、身体機能の低下や認知症を含めた心身の状況に適した支援を行ってきました。また、医療機関との連携も図りました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 利用実績

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
生活介護	40 名	令和 7 年度	269 日	9,911 名	92.10%	36.84 名
		令和 6 年度	269 日	9,956 名	92.52%	37.01 名
施設入所	40 名	令和 7 年度	365 日	13,400 名	91.78%	36.71 名
		令和 6 年度	365 日	13,504 名	92.49%	36.99 名

2 入退所の状況

入 所			退 所		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
6 月 24 日	1 名	在宅から	5 月 13 日	1 名	他事業所へ
2 月 2 日	1 名	養和荘から	8 月 12 日	1 名	入院 3 か月経過により
			9 月 5 日	1 名	死亡
			12 月 20 日	1 名	死亡
			3 月 3 日	1 名	死亡

3 支援内容

（1）個別支援計画・支援手順書

対面での個別懇談会を主に実施しましたが、ご家族の都合等により、書面や電話等での意向確認となるケースもありました。各利用者 6 か月に 1 回の見直しを行いました。

（2）健康管理

利用者の健康管理として、下記のとおり実施しました。

5 月 13 日	利用者健康診断	名古屋公衆医学研究所検診車
10 月 14 日	利用者健康診断	名古屋公衆医学研究所検診車
11 月 6 日・13 日	インフルエンザ予防接種	しんまちクリニック
月 1 回	嘱託医来所、健康相談	岡川医師
月 1 回	内科医による診察	しんまちクリニック 勝野伸介医師
月 2 回	訪問歯科診療	医療法人さくら会 さくら歯科

今年度も引き続き手洗い・うがいの励行、手指や器具類のアルコール消毒やマスクの着用を実施し、感染防止に努めました。インフルエンザ罹患者は、職員複数名、利用者 1 名、新

型コロナウイルス罹患者は職員、利用者共に 0 名であり、利用者への感染拡大は防ぐことが出来ましたが、年始早々に胃腸風邪と思われる症状が蔓延し、1 月 2 日～22 日にかけて、19 名の利用者が罹患しました。また、転倒による怪我の防止のためのシルバーカーやセンサーマット・離床センサーの活用は継続して行っており、身体機能の低下への対応を利用者個々に行いました。その他、新たに「眠り CONNECT (眠り SCAN、眠り SCANeye)」を導入し、夜間の見守り体制の強化を行ったことにより、転倒・転落による怪我の防止や、夜勤職員の負担軽減に繋げることが出来ています。

病気による医療機関への入院は下記のとおりでした。

年度	入院者数	入院期間
7 年度	9 名 (9 回)	270 日 (入退院日を含む)
6 年度	10 名 (11 回)	323 日 (入退院日を含む)

(3) 食事

施設の管理栄養士がメニューを立て、キッチン高森に委託して給食提供しました。利用者の状況を栄養士に報告し、食事形態や提供方法を個々の状態に合わせて対応しました。また、食前に嚥下体操を行い誤嚥の予防に努めました。

(4) 入浴

月・水・金曜日を入浴日とし、利用者の介護度により一般浴と機械浴に分けて実施しました。発汗や汚染した際には適宜シャワー浴を行いました。

(5) 日中活動

創作活動で制作した作品は、あいちアールブリュット展、ふれあいアート展等の作品展への出展を行いました。また、リハビリ等の活動も無理のない範囲で実施し、利用者の身体機能の維持に努めました。

活動名称	活 動 内 容
リハビリ (午前)	訪問リハビリの理学療法士にアドバイスをいただきながら、利用者個々に合ったリハビリ運動を実施し、筋力・身体機能の維持に取り組みました。
創作活動 (午前・午後)	利用者個々に、作品展への出展を目指しての作品づくりに取り組みました。全体としては、季節行事に合わせた装飾品の作成を中心に取り組みました。
レクリエーション	カラオケを中心に行い、利用者皆で楽しみました。

(6) 環境整備

日常的な施設設備の点検や、経年劣化による設備の不良部分の修繕等を行いました。また、日頃の館内清掃をさいおワークス (就労継続支援 B 型) に委託を開始し、館内の清潔を保ち、利用者が快適に生活することができる環境作りに努めました。

(7) 虐待防止・身体拘束適正化

虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会を設置し、その内容を職員に周知徹底すると共に、研修を実施しました。また、職員へのアンケートを実施し虐待関連の課題抽出し、虐待防止や身体拘束の適正化をより推進する試みも実施しました。

4 短期入所事業

新規で契約者が1名増え、延べ利用者数が増加しました。

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1日平均利用者数
短期入所	2名	令和7年度	365日	87名	11.91%	0.23名
		令和6年度	365日	98名	13.42%	0.26名

5 防災・防犯対策

火災・震災・風水害発生を想定した避難誘導訓練等については、下記のとおり実施しました。実際に被災した際にも対応が出来るよう、毎回異なる状況を細かく想定する等工夫しながら実施しました。また、業務継続経過（BCP）の見直し、備品購入等も行ってきました。

4月3日、4日	AED講習、消火訓練（新規採用・中途採用者対象）
7月31日、2月17日	夜間の火災想定、通報及び避難誘導訓練
9月1日	日中の地震からの火災想定、避難誘導訓練
6月26日、7月31日、 9月25日、11月27日	スタッフ会議にて、防災教育実施

6 施設連携

入所施設（養和荘・第二養和荘・養楽荘・はるひ荘）間で、施設長会や各委員会活動（虐待防止・身体拘束適正化、感染症対策、BCP、地域移行、研修）を実施しました。法人のスケールメリットを活かした研修の連携、情報共有、課題の検討等を行いました。

7 その他

（1）施設行事

利用者の高齢化・重度化に伴い、第二養和荘館内で無理なく楽しめるよう工夫しながら行いました。

実施日	行事等	行先・開催場所・内容等
8月7日	夏祭り（花火等）	1階デイルーム、グラウンド側アスファルト部分
9月4日	キッチンカー	コメダ珈琲店キッチンカー、第二玄関前
9月24日	敬老の日特別おやつ	1階、2階デイルーム、安納芋のなめらかプリン提供
12月3日	特別おやつ	1階、2階デイルーム、富士山ゼリー提供
12月25日	クリスマス会	1階デイルーム
1月24日	正月特別おやつ	1階、2階デイルーム、ウフウフガーデンのとろ生プリン提供
3月27日	お疲れ様会	1階、2階デイルーム、ノンアルコール飲料提供

（2）地域移行

面談等でご本人、保護者・後見人へ地域移行等確認担当者より希望を確認していきました。

（3）地域との連携

地域連携推進会議を2回実施し、10月28日は施設の事業内容について説明し、意見交換をしました。3月4日には施設見学を行いました。

事業報告附属明細書（障害者支援施設 養楽荘）

施設入所支援事業（定員 40 名）、生活介護事業（定員 40 名）、短期入所事業（定員 5 名）を実施しました。

事業実績につきましては以下のとおりです。

1 利用者状況

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
生活介護	40 名	令和 7 年度	269 日	10,411 名	96.75%	38.70 名
		令和 6 年度	269 日	10,805 名	100.41%	40.16 名
施設入所	40 名	令和 7 年度	365 日	14,154 名	96.94%	38.77 名
		令和 6 年度	365 日	14,434 名	98.86%	39.54 名

2 入退所状況

入所			退所		
日付	人数	備考	日付	人数	備考
10 月 1 日	1 名	GH より	7 月 1 日	1 名	GH へ
2 月 9 日	1 名	はるひ荘より	11 月 19 日	1 名	GH へ
			2 月 28 日	1 名	退所

3 支援内容

（1）個別支援計画

利用者支援の基本となる支援計画については、半年に 1 回の見直しを行いました。強度行動障害のある方への支援手順書については毎月のモニタリング時に見直し、個々のアセスメントを丁寧に行いました。

（2）健康管理

利用者の健康管理を以下のとおり実施しました。

【定期健診・予防接種】

日付	内容	機関名
5 月 28 日	春の健康診断（心電図）	名古屋公衆医学研究所
10 月 23 日	秋の健康診断（胸部レントゲン）	同上
11 月 18 日	インフルエンザ予防接種	しんまちクリニック

【嘱託医・往診等】

頻度	内容	機関名
毎月 1 回	健康相談等	岡川医師（嘱託医）
3～5 週に 1 回	内科医による診察	しんまちクリニック
3～5 週に 1 回	精神科医による診察	あさひが丘ホスピタル

【入院・救急搬送等】

日付	内容	医療機関	備考
5月4日～5月14日	左大腿静脈血栓性静脈炎	名古屋徳洲会病院	
5月14日	左こめかみ裂傷	東海記念病院	
5月22日	陰茎裂傷	名古屋徳洲会病院	
5月24日	右大腿骨遠位部骨折	名古屋徳洲会病院	
7月10日	室内温度計異食	名古屋徳洲会病院	
7月15日	CD 異食疑い	名古屋徳洲会病院	
8月12日	左上腕骨骨折	東海記念病院	
10月3日	右足第4趾基節骨骨折	東海記念病院	
12月4日	右顎内に腫瘍	名古屋徳洲会病院	
12月5日～12月23日	重症肺炎、敗血症、髄膜炎	名古屋徳洲会病院	
12月6日	右肩脱臼・右肩甲骨骨折	名古屋徳洲会病院	
12月19日	血尿	東海記念病院	
1月29日～2月28日	肺炎・呼吸状態悪化	名古屋徳洲会病院	退所
1月29日～3月25日	肺炎	名古屋徳洲会病院	
1月31日～2月16日	てんかん重積発作	名古屋徳洲会病院	
2月6日	睾丸、ペニス腫れ	名古屋徳洲会病院	

【感染症】

日付	内容	備考
9月11日～9月29日	新型コロナウイルス集団感染	6名感染
11月21日～11月25日	上気道感染（インフル・コロナは陰性。原因不明の風邪症状）	21名感染
1月22日～2月9日	インフルエンザA型集団感染	36名感染

(3) 食事

管理栄養士作成の献立より、キッチン高森に委託して食事提供を行いました。利用者の嚥下の状態や体重に応じて食事の形態や量を適宜見直すことで健康維持を図りました。希望メニューの聞き取りをし、献立に反映することで食事の楽しみも確保しました。

(4) 入浴

男女とも最低週3回以上の入浴を実施しました。より安心してゆったり入浴できるようにグループ分けをして月水金と火木土の2グループで入浴する体制で行いました。

(5) 日中活動

午前の活動は音楽をかけながら運動またはスノーズレンを楽しめる活動とし、午後の活動は自立課題班と生活スキル向上の作業班、ゆったりと過ごすフロアスノーズレン班を分けて活動しました。また、ドライブや歩行を積極的に取り入れて、運動量の確保にも努めました。毎日活動を行うことで、自閉傾向が強い人でも混乱がないような安定した日課に変更し、構造化にも取り組み、課題行動も減少傾向にあります。

(6) 環境整備

エアコンなど、定期メンテナンスが必要なものの故障がありましたので対処しました。

年 2 回の定期的な大掃除により、清潔を保ちました。ロボット掃除機の導入により、フロアの清潔保持が効率的にできており、利用者支援の時間確保につながりました。

大型扇風機を導入し、フロアの温度の均一化と換気の促進しながら夏も冬も過ごしやすい環境を提供しました。

(7) 虐待防止・身体拘束適正化

委員会活動は 3 か月に 1 回程度設けており、虐待が無いかのセルフチェック・研修を通して虐待の防止に努めました。今年度は虐待の通報・苦情などありませんでした。

身体拘束適正化委員会については、検討資料に身体拘束の同意書をそのまま用いることで抜け漏れなく 3 要件の検証が出来るように改善しました。

4 短期入所事業

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
短期入所	5 名	令和 7 年度	365 日	981 名	53.75%	2.68 名
		令和 6 年度	365 日	1,230 名	67.39%	3.36 名

原則男性 2 名、女性 3 名の運用です。男性については身寄りが少なく、行き場が無い方を受け入れ、施設入所へ移行しました。3 か月程度の短期利用から施設入所に繋げております。女性についても、虐待ケース等含め、ケース検討会議を実施ながら、個別のニーズに合わせて受け入れを行いました。

5 防災・防犯対策

防災訓練は以下のように行いました。

日付	種類	内容
5 月 1 日	地震	炊き出し訓練
6 月 20 日	火災・地震	避難訓練
7 月 18 日	地震	避難訓練
7 月 23 日	火災・地震	避難訓練
9 月 1 日	火災・地震	法人総合防災訓練
10 月 9 日	防犯	防犯訓練
10 月 31 日	火災	避難訓練
11 月 21 日	火災	はるひ荘と合同避難訓練
12 月 11 日	火災	同上
1 月 20 日	火災	同上
2 月 15 日	地震	171 訓練
2 月 16 日	火災	はるひ荘と合同避難訓練
3 月 11 日	火災	はるひ荘と合同避難訓練
3 月 18 日	風水害	避難訓練・躯体確認

また、BCP 委員会と協力し職員への研修・訓練も以下のとおり行いました。

日付	種類	内容
5 月 28 日	訓練	AED 訓練
8 月 22 日	訓練	地震時の躯体確認訓練

9月24日	訓練	生活用水運搬訓練
9月24日	研修	災害時の初動確認
11月26日	訓練	停電・断水時のトイレ訓練
11月27日	訓練	夜間の大規模地震を想定した夜間帯訓練

6 施設連携

入所施設間で施設長会・虐待防止、身体拘束適正化委員会・感染症対策委員会・BCP委員会・地域移行委員会・リスクマネジメント委員会等の委員会活動を実施しました。法人のスケールメリットを活かした研修の連携、情報共有、課題の検討等を行いました。

7 その他

(1) 外出・イベント

個別外出を通して意思形成支援に必要な「新しい経験」ができる機会づくりを行いました。餅つきやクリスマス会などの従来のイベントに加え、なかぎりワークスのパン祭りを実施しました。ケータリングを依頼し、コメダのキッチンカーを体験し、カフェハナモモにて短時間でのランチ外出など、利用者の楽しみの質の向上に取り組みしました。

(2) 地域移行

地域移行等意向確認担当者を設置し、利用者・保護者にグループホームに関する情報提供を行いました。対象となる利用者には、まずは荘内においてグループホームを想定した環境で過ごす機会を提供しました。

(3) 地域との連携

地域連携推進会議を2回実施し、1月20日は施設の事業内容について説明し、意見交換をしました。3月9日には施設見学を行いました。

(4) 職員面談・研修・メンタルヘルス

新人職員のフォローアップに力をいれ、研修委員会で研修方法の変更や改善を目的に打ち合わせを年に3回設け、実施しました。新人職員を含めた全職員への役職者の個別面談やフォローアップを行い、ストレスチェックの実施結果、高ストレス者は0件でした。

看護師がメンタルヘルスとして職場環境の改善とメンタル面でのサポート体制を整え、面談窓口の活用し、風通しの良い職場づくりを心掛けました。

(5) 職場体験・職場見学・実習・ボランティア

新規採用職員等の見学、職場体験、理美容学生の実習、警察学校ボランティアの受入、新規ボランティアの開拓など積極的に行いました。

事業報告附属明細書（障害者支援施設 はるひ荘）

施設入所支援事業（定員 40 名）、生活介護事業（定員 40 名）、短期入所事業（定員 5 名）を実施しました。令和 7 年度末の現員は施設入所 39 名です。

事業実績につきましては以下のとおりです。

1 利用実績

	定員	年 度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
生活介護	40 名	令和 7 年度	269 日	9,814 名	91.20%	36.48 名
		令和 6 年度	269 日	8,795 名	81.73%	32.69 名
施設入所	40 名	令和 7 年度	365 日	14,212 名	97.34%	38.93 名
		令和 6 年度	365 日	12,772 名	87.47%	34.99 名

2 入退所状況

入 所			退 所		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
5 月 1 日	2 名	在宅から	6 月 10 日	1 名	ナーシングホームへ
9 月 17 日	1 名	在宅から	1 月 31 日	1 名	在宅へ
3 月 1 日	1 名	他法人入所から	2 月 9 日	1 名	養楽荘へ

腎盂腎炎により膀胱へのカテーテル留置が必要となりナーシングホーム（有料）へ移行した方がいました。スムーズな移行のために病院のケースワーカーや移行先施設と調整を行いました。

3 支援内容

（1）個別支援計画・支援手順書

原則 6 か月に 1 度見直しを行い、支援計画の策定を行いました。モニタリングにあたっては、利用者参加による個別支援会議を支援員と看護師等専門職を交えて開催しました。強度行動障害の状態の利用者へは、支援手順書を作成しました。

（2）健康管理

ア 利用者の健康管理を以下のとおり実施しました。

毎月 1 回	健康相談等	岡川医師
	内科医による診察	しんまちクリニック
	精神科医による診察	あさひが丘ホスピタル
5 月 27 日	健康診断①	名古屋公衆医学研究所
10 月 22 日	健康診断②	
11 月 20 日	インフルエンザ予防接種	しんまちクリニック

イ 入院

4 名	重積発作
2 名	腎盂腎炎

ウ 感染症

感染対策委員会を開催し、研修や平時の予防と発生時の対応強化に取り組みましたが、施設内で一度発生すると感染拡大を押さえるのが難しい状況がありました。

インフルエンザ、コロナウイルスの発生状況は下の通りです。

8月10～15日	インフルエンザ	職員2名
8月10～17日	コロナウイルス	利用者7名、職員6名
11月22日～12月10日	インフルエンザ	利用者22名、職員9名

(3) 食事

キッチン高森に委託し、栄養面、嗜好、季節感等を考慮した食事の提供を行うと共に、嗜好調査を行いました。月に一度の給食会議では、看護師・管理栄養士・支援員が連携し、主治医のアドバイスのもと、個々の身体状況に合わせて摂取カロリーの変更、食事形態の見直しを行い健康増進と事故防止に努めました。

(4) 入浴

心身のリフレッシュと清潔保持のため、週3回以上の入浴を実施しました。感染症への対応による棟閉鎖中は、ドライシャンプーや清拭を実施しました。

(5) 日中活動

日中活動では、利用者のニーズをもとにグループに分かれて音楽・動画鑑賞や創作活動、体を動かす機会を提供しました。余暇活動では、利用者個々に好きなものや心地よい過ごし方を見つけるように取り組みました。

また、地域の作品展への出展など、地域社会との繋がりを持てる機会を作りました。

(6) 行事

ア 荘内行事

荘内で季節のイベント（七夕、バーベキュー、クリスマス会、新年会等）を楽しみました。行事日は適切に人員を確保し、事故のないよう配慮して実施しました。

イ 外食・外出

外食はファミリーレストランやファーストフード店などに年2回、外出は公園や観光地などに年1回ずつ行きました。

(8) 短期入所

	定員	年度	開所日数	延利用数	利用率	1日平均利用者数
短期入所	5名	令和7年度	365日	1,141名	62.52%	3.12名
		令和6年度	365日	1,895名	103.83%	5.19名

新規契約者数は5名でした。短期入所を利用していた中から多くの方が、令和6～7年度に施設入所されたことから利用者数は減少しました。

4 環境整備

開所時から湿気によるカビが発生しており令和5年度末に結露対策工事を実施しましたが、その後も他の箇所から新たにカビの発生があったため、主にカビが発生していた1階すべてに対応するよう結露対策工事を行いました。これによりカビの発生は収まっています。

加えて、専門の清掃業者を入れ、利用者の居室及び吸気・排気口を中心に清掃を行い衛生的な環境整備に努めました。

また、エアコンの故障が続いていたことから令和6年度から居住棟から順にエアコン室外機の保全整備を実施しています。令和8年度までですべての室外機の整備が完了する予定です。

その他、障害特性からくる器物破損（扉など）については、その都度業者に依頼し修繕しました。

5 防災・防犯対策

避難マニュアルの点検、火災・地震・風水害を想定した避難訓練を実施しました。

BCPに沿って研修・訓練をし、法人内でも連携できるよう必要な箇所を見直しました。

月 日	内 容
4 月	異動職員を対象に避難経路確認・防犯機器説明
3 月 16 日	風水害想定避難訓練
6 月 17 日、11 月 21 日、12 月 11 日、 1 月 20 日、2 月 16 日、3 月 11 日	夜間の地震・火災想定による避難・消火・通報 訓練
5 月 1 日	炊き出し訓練
9 月 1 日	法人総合防災（日中大規模地震想定）

6 虐待防止・身体拘束適正化

虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会を開催しました。虐待防止について研修や職員へのセルフチェックの実施・分析を行いました。また、身体拘束についても定期的に個別支援会議を開催し拘束廃止を検討しました。

7 施設連携

入所施設（養和荘・第二養和荘・養楽荘・はるひ荘）間で、施設長会や各委員会活動（虐待防止・身体拘束適正化、感染症対策、BCP、地域移行、研修）を実施しました。法人のスケールメリットを活かした研修の連携、情報共有、課題の検討等を行いました。

8 その他

（1）地域交流

毎週日曜日の午前中、隣接する特別養護老人ホームどんぐりの森の喫茶室をお借りして、喫茶室の運営を継続して行いました。

また、スヌーズレン棟を予約制で地域の障害のある方や施設に開放しました。

（2）地域移行

地域移行等意向確認担当者を設置し、利用者・保護者にグループホームに関する情報提供を行いました。対象となる利用者には、まずは荘内においてグループホームを想定した環境で過ごす機会を提供しました。

（3）地域との連携

地域連携推進会議を2回実施し、1月20日は施設の事業内容について説明し、意見交換をしました。3月9日には施設見学を行いました。

（4）職員のメンタルヘルス

看護師が衛生管理者となり荘内においても衛生委員会を設置し、衛生管理者・荘長・支援員等が参加する会議を毎月開催しました。職場環境の改善と相談窓口の設置によるメンタル面でのサポート体制の構築等、風通しの良い職場づくりに取り組みました。

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 はさま）

生活介護事業は定員 30 名にて実施しました。また、春日井市事業で土曜・日曜日の余暇支援として地域活動支援センター事業を定員 19 名で実施しました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 生活介護

(1) 利用実績

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1日平均利用者数
生活介護	30 名	令和 7 年度	256 日	7,514 名	97.83 %	29.35 名
		令和 6 年度	256 日	7,398 名	96.32 %	28.89 名

(2) 利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備考	月 日	人数	備考
7 月 1 日	1 名	他事業所から	6 月 23 日	1 名	病院へ
9 月 1 日	1 名	他事業所から	9 月 28 日	1 名	他事業所へ
10 月 16 日	1 名	他事業所から	9 月 30 日	1 名	養楽荘へ
11 月 1 日	1 名	他事業所から	12 月 31 日	1 名	他事業所へ
12 月 1 日	1 名	他事業所から			

(3) 支援内容

ア 個別支援計画

少なくとも 6 か月に 1 回はモニタリング・再アセスメントを行い、適宜計画の変更を行うと共に、緊急対応確認シートの内容、各利用者・保護者のニーズを確認して、より良いサービスが提供できるよう努めました。

イ 日中活動

- (ア) 歩行（岩船神社、焼山公園、植物園、農村公園、第二養和荘外周・グラウンド）
- (イ) 運動（ラジオ体操、ストレッチ体操、リハビリ・ハビリ運動等）
- (ウ) 軽作業（シュレッダー、シール貼り、ペグ指し等）・創作活動（絵画、貼り絵、塗り絵、パズル、作品展作品制作等）
- (エ) ボランティア講師による活動（煎茶、お手玉、書道）
- (オ) 職員による文化的活動（煎茶、お手玉、書道）
- (カ) レクリエーション（各種ゲーム等）
- (キ) 入浴（希望者）

ウ 健康管理

看護師による月 1 回の体重・血圧測定（高血圧の方は週一回）を実施し各家庭に報告しました。服薬や受診等の個別の健康状態については、緊急対応確認シートを活用し送迎時の家庭からの聞き取りにより利用者の現状把握に努めました。

健康診断は 5 月 14 日（名古屋公衆医学研究所来所）、インフルエンザ予防接種は 11 月 28 日（しんまちクリニック来所）に実施しました。

前年度から引き続き感染防止対策として検温、手指消毒、手洗い、事業所・送迎

車両内の消毒・換気を励行しました。新型コロナウイルス感染者は2名、インフルエンザ感染者は2名みえましたが、感染拡大には至りませんでした。

エ ボランティア

活動内容は以下のとおりです。

団体名・氏名	曜日	内容
五月会	木曜日（月1回）	煎茶・生け花
たかなみ会	月曜日（月1回）	お手玉
小林 様 （年度途中で引退）	金曜日（月1回）	書道

オ 行事

行事は下記のとおり実施しました。

5月29日	ミニ運動会	玉入れやリレーを実施
6月16日 他6日間	小グループ外出	イオンモール長久手 利用者30名・7グループにて実施
6月19日	お茶会	はさま内にて実施
7月7日	七夕会	はさま内にて実施
8月27日	夏のつどい	はさま内にて実施
9月3日 他5日間	ランチ外出	福祉の里（ほっともつと（テイクアウト）） 利用者34名・6グループにて実施
10月31日	ハロウィン	はさま内にて実施
11月12日 他5日間	小グループ外出	岐阜県サイエンスワールド 利用者26名・6グループにて実施
12月25日	クリスマス会	はさま内にて実施
1月6日	新年のつどい	はさま内にて実施
2月3日	節分会	はさま内にて実施

（4）学生実習

東海学園大学からは10月20日～12月12日の5週に渡り、10名を教員免許取得のための介護等体験に受け入れました。

その他にも、愛知県警察学校より12月11日から4日間、延べ12名の体験実習を受け入れました。

2 地域活動支援センター（春日井市事業：土曜日・日曜日）

（1）利用実績

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1日平均利用者数
地域活動支援センター	19名	令和7年度	103日	1,781名	91.00%	17.29名
	19名	令和6年度	102日	1,477名	76.21%	14.48名

（2）利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備考	月 日	人数	備考
7月1日	1名	はさま生活介護利用	9月30日	1名	養楽荘へ

(3) 活動内容

ストレッチ体操、レクリエーション（フライングディスク、輪投げ、ポケネット、D
VD鑑賞等）、おやつ作り等の余暇活動を実施しました。

3 全体

(1) 食事

キッチン高森と給食提供業務委託契約を締結し、キッチン高森分場より給食提供しま
した。管理栄養士と適宜利用者状況を共有し、栄養バランスや嗜好を考慮した季節感を
感じられる献立作りや、利用者個々のニーズに合った食事形態やカロリー制限での提供
に努めました。

(2) 通所支援

各家庭等と事業所間を車両による送迎を実施しました。運転手は乗務前点呼（呼気検
査・体調・運転免許証の確認）を実施し安全運転に努めました。また、降車時に利用者
が確実に車両から降りているかどうかの確認も行い、利用者の安全確保にも努めました。

(3) 防災・防犯対策

地震から火災、風水害、不審者対応を想定した訓練を下記のように実施しました（非
常食は3食3日分を備蓄）。

8月27日	不審者の敷地内侵入を想定した防犯訓練 (マニュアルの周知・確認)	生活介護 地域活動支援センター
9月1日	地震、火災を想定した避難訓練	生活介護
10月21日	火災を想定した避難訓練	生活介護
11月1日	火災を想定した避難訓練	地域活動支援センター
11月2日	火災を想定した避難訓練	地域活動支援センター
11月8日	火災を想定した避難訓練	地域活動支援センター
11月9日	火災を想定した避難訓練	地域活動支援センター
12月25日	アプリの連絡網を使用しての配信テスト (職員の安否確認)	生活介護

4 その他

外部評価機関（中部評価センター）による第三者評価を受審しました。

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 みずほ）

生活介護事業（定員 20 名）を実施しました。利用者の年齢層や障害の特質などが幅広いため、個々の多様なニーズに配慮し、安全・快適で充実した生活を送れるよう支援しました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 利用実績

	定員	年度	開所 日数	利用状況		
				延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
生活 介護	20 名	令和 7 年度	256 日	4,820 名	94.14%	18.82 名
		令和 6 年度	256 日	4,369 名	85.31%	17.06 名

2 利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
4 月 1 日	1 名	瀬戸つばき特支から	9 月 3 日	1 名	養和荘入所
5 月 23 日	1 名	さいおワークス併用			
1 月 7 日	1 名	なかぎり併用			

3 支援内容

（1）個別支援計画

利用者・家族の意見・要望を聞き取りながら、支援内容の見直し等を行いました。

（2）日中活動

感染予防に留意し、活動を通して心身の健康を維持すると共に、様々な体験をすることができるように支援しました。午前は生産活動として軽作業を行い、午後は運動・レクリエーションなどで、活動にメリハリをつけ、利用者の気持ちの安定と充実を図りました。

※夏期は午前・午後の活動を入れ替えて実施しました。

ア 歩行（近隣の公園等への身体機能に合わせた歩行）

イ 運動（ラジオ体操、ストレッチ、ダンス、フライングディスク等）

ウ 生産活動（①毛染め用の手袋・櫛・説明書のセット、②額縁ケースの箱折り）

※②については、令和 8 年 2 月をもって終了となりました。

※生産活動の収入は、本人支給金として分配しました。

	令和 7 年度	令和 6 年度	前年度比
作業収入	222,395 円	241,934 円	91.92%
本人支給金（収入－振込手数料）	216,616 円	235,817 円	92.37%
支給人数（延べ）	240 名	240 名	100%
平均支給額（月）	902 円	982 円	88.63%

エ 創作活動（絵画、手芸、工作等）

オ 園芸（果物の収穫体験等）

カ 音楽（歌唱、楽器演奏等）

キ レクリエーション（ゲーム、カラオケ、DVD鑑賞、季節に合わせた行事等）

ク 社会参加活動（公園清掃、公共施設の利用、買い物、外出等）

(3) 行事

外出・外食・買い物など、地域生活に密着した楽しい活動を実施しました。また、例年行事等で利用している福祉の里が10月～2月の間、空調設備工事の関係で利用できなかったため、クリスマス会・新年会は事業所内で実施しました。

4月9・10・11日	春の散策	名古屋城
7月14・16・17・18・22日	グループランチ外出	ガスト、横綱ラーメン等
8月8日	プラネタリウム	小牧中央公民館
10月23・24日	1日外出	リトルワールド
12月25日	クリスマス会	みずほ内
1月29日	新年会	みずほ内

※上記の他、6月には福祉の里を利用し、カラオケ等を楽しみました。また、隔月グループ別で「お買い物ツアー」や「カフェ外出（みずほカフェ）」を実施しました。

(4) 健康管理

日常的に保護者等と情報共有をし、健康診断等は下記のとおり行いました。

毎月1回	体重・血圧測定	みずほ看護師及び支援員
毎月1回	医師による支援相談（3～4名）	嘱託医師及び看護師
5月13日	利用者健康診断	名古屋公衆医学研究所（養和荘にて）
11月26日	インフルエンザ予防接種	しんまちクリニック往診（なかぎりにて）

※検温、手洗い、消毒、マスクの着用、室内の換気など感染症予防対策を日常的に行いました。
看護師による職員向けの勉強会を実施しました。（7・9・12・3月）

(5) 食事

宅配の食材により、事業所内で調理して昼食を提供しました。

(6) 通所支援

4ルートで自宅及びグループホームと事業所間の送迎を実施しました。短期入所利用時は、宿泊先への送迎も行いました。また、送迎後の車内消毒、利用者の降車確認を毎回実施しました。

4 防災・防犯対策

防災計画に基づき、下記の訓練を実施しました。

6月25日 9月1日 3月18日	総合防災訓練 （地震～火災想定）	地震発生時のシェイクアウト訓練 緊急避難場所までの避難
------------------------	---------------------	--------------------------------

※事業継続計画（BCP）について、職員に周知徹底を行いました。

事業報告附属明細書(障害福祉サービス事業所 たかもり)

生活介護事業(定員 20 名)を実施しました。事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 利用実績

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1日平均利用者数
生活介護	20 名	令和 7 年度	256 日	4,904 名	95.78%	19.15 名
		令和 6 年度	256 日	5,386 名	105.19%	21.03 名

2 利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備考	月 日	人数	備考
7 月 1 日	1 名 週 2～3 日	養楽荘ロングST 利用者(再契約)	9 月 30 日	1 名	養和荘入所へ

3 支援内容

(1) 個別支援計画

少なくとも 6 か月に 1 回はモニタリング・再アセスメントを行い、適宜計画の変更を行うと共に、緊急対応確認シートの内容、各利用者・保護者のニーズを確認して、より良いサービスが提供できるよう努めました。

(2) 日中活動

ア 生活介護

(ア) 音楽療法

(イ) 歩行(事業所周辺)

(ウ) ドライブ

(エ) ストレッチ体操

(オ) 創作活動(絵画、貼り絵、塗り絵等)

(カ) リラクゼーション

(キ) 買い物(近隣のスーパー、薬局等)

イ 喫茶

(ア) ホール部門において接客対応訓練

(イ) 厨房内にて盛りつけ、食器洗浄訓練(体験のみ)

※喫茶部門においては従事する利用者に対し、1 日 100 円の日当を支給

(3) 行事

5 月 27 日	グループ外出	ぎふワールド・ローズガーデン(可児市)
6 月 10 日	グループ外出	名古屋港水族館(名古屋市)
6 月 24 日	グループ外出	モザイクタイルミュージアム(多治見市)
7 月 7 日	七夕会	事業所内行事
8 月 7 日、8 日	参観日	保護者による参観日

8月20日	夏祭り	事業所内行事
9月16日	きずなコンサート	後援会による絆コンサート(利用者10名参加)
9月17日	ヤナあゆ	招待行事(利用者5名参加)(関市)
9月30日	グループ外出	アクア・トぎふ(各務原市)
10月2日	グループ外出	おばあちゃん市(恵那市)
10月27日	ドッグセラピー	ボランティア、セラピー犬の来所
10月28日	グループ外出	名古屋港水族館(名古屋市)
10月31日	ハロウィン会	事業所内行事
11月20日	グループ外出	東谷山フルーツパーク(名古屋市)
12月3日～15日	個展	総合福祉センター内展示スペース借用
12月25日	クリスマス会	事業所内行事
1月6日	新年会、初詣	事業所内行事、岩船神社まで初詣
3月25日～29日	むがむちゅう展	全体作品、個人作品(1名)を展示

(4) 健康管理

看護師による月1回の体重・血圧測定(高血圧の方は週一回)を実施し各家庭に報告しました。服薬や受診等の個別の健康状態については、緊急対応確認シートを活用し送迎時の家庭からの聞き取りにより利用者の現状把握に努めました。

各感染症の予防対策として、登所時の検温、手指消毒の徹底。また、事業所・送迎車両の換気を励行し、基本的予防の徹底を行いました。

5月26日	健康診断
11月25日	インフルエンザワクチン接種(利用者)

(5) 食事

キッチン高森に委託して提供しました。

(6) 通所支援

各家庭等と事業所間を車両による送迎を実施しました。運転手は乗務前点呼(呼気検査・体調・運転免許証の確認)を実施し、安全運転に努めました。また、送迎の都度車内に利用者が残っていないかの確認を車内消毒の実施と共に励行しました。

4 防災・防犯

下記のように訓練をしました。なお、春日井市とは大規模災害における要介護者等の受け入れについて協定を締結しています。

6月17日	地震、火災を想定した避難訓練
9月1日	法人総合防災訓練、炊き出し訓練
1月13日	地震、火災を想定した避難訓練
3月5日	重度障害者を対象とした避難訓練(大規模災害による帰宅困難時の訓練)

5 学生実習

下記のとおり実習の受け入れを行いました。

7月22日	瀬戸つばき特別支援学校生 生活介護事業体験実習
1月16日	高森台中学校職場体験実習(各2名)

6 地域貢献

社会福祉法人による「地域における公益的な取組」のために、訓練作業室及び駐車場を地域の団体等の活動の場として提供しました。なお、ギターオーケストラへの貸出については、立入禁止エリアへの入室(これによりセコム出動)や備品の無断使用が複数回確認されたため、当面の間ご利用をお断りしています。

6月1日、8月3日、10月5日、12月7日、 2月1日	フードバンクかすがい
6月13日、9月19日、10月31日、1月30 日	高森台中学校 研修会
5月17日、6月22日、7月27日、8月24 日、9月27日、9月28日、10月25日、10月 26日、11月23日、11月29日、12月28日、 1月17日、1月25日、2月22日、3月21 日、3月22日	NPO 法人 高蔵寺どんぐりs ハート・ほっと・ルーム他
7月5日、9月13日、11月8日、12月13 日、2月7日、3月14日	NPO 法人 高蔵寺どんぐりs 役員会
6月14日	ギターオーケストラ
5月11日、6月8日、8月31日、11月8日、 12月27日、3月15日	東高森台地区社協
1月25日	たかもり保護者会

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 なかぎりワークス）

就労継続支援B型事業（定員 48 名、契約利用者 44 名）を実施しました。
事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 利用実績

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
就労 B 型	48 名	7 年度	256 日	10,284 名	83.69%	40.17 名
		6 年度	256 日	10,555 名	85.89%	41.23 名

*開所日数は、販売日による一部開所を除く日数

2 利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備考	月 日	人数	備考
—	0 名	該当者なし	—	0 名	該当者なし

3 支援内容

（1）個別支援計画

計画に沿った支援を行うと共に、6 か月毎にモニタリングし、利用者・保護者の意見・要望を聴き取りつつ、計画の見直しを行いました。

（2）生産活動

ア パン事業

イベント販売に積極的に参加し、売り上げの向上を図りました。

	納品・店内販売	元気ショップ	イベント	合計
令和 7 年度	6,336,332 円	6,206,660 円	871,060 円	13,414,052 円
令和 6 年度	6,268,314 円	5,653,430 円	610,140 円	12,531,884 円
前年度比	101.08%	109.78%	142.76%	107.03%

イ 製品受注事業

主として市内及び隣接する地域の企業 6 社から製品加工の受注を行いました。継続して取引が出来ているため作業のレベルが上がり、更なる作業効率の見直しと作業単価を考え取引を受注しています。

令和 7 年度	3,415,152 円	エルスタット、梱包屋、ハートコープ愛知（TUTTI 経由）ケイティケイ、大額、サンスイ生産組合
令和 6 年度	3,556,960 円	
前年度比	96.01%	

ウ 施設外就労

令和 7 年度	0 円	エアフロントオアシス公園清掃 ※隔年実施
令和 6 年度	427,000 円	
前年度比	—	

エ 作業収入と工賃

製品受注事業で売上が下がり、施設外就労（エアフロントオアシス公園清掃）は実施していませんでしたが、パン事業の売上増により作業総収入額は増額となりました。しかし、パン製造に係る材料費高騰の影響を受け、工賃支払総額及び平均工賃月額は減額となりました。

	作業総収入額	工賃総支払額	平均利用者数	平均工賃月額
令和 7 年度	16,829,204 円	8,022,224 円	40.2 名	16,630 円/月
令和 6 年度	16,515,844 円	8,254,793 円	41.3 名	16,656 円/月
前年度比	101.89%	97.18%	97.33%	99.84%

(3) 行事

保護者・地域等の外来者の来所は見合わせ実施しました。

6 月 5 日	王子製紙合同アダプト清掃
6 月 10・17・24 日	お楽しみ外出（東山動植物園）3 グループで実施
9 月 16 日	きずなコンサート
10 月 19 日	春日井まつりパレード（どっこいせ踊り）
11 月 3 日	げんきまつり
12 月 16 日	クリスマス会（ケーキ提供）
1 月 12 日	新年会 観音寺初詣 中切公園で凧揚げ

(4) 健康管理

利用者の健康管理を、下記のとおり行いました。

5 月 12 日	健康診断（名古屋公衆医学研究所来所）
11 月 26 日	インフルエンザ予防接種
毎月 1 回	体重・血圧測定

感染症対策として手洗い、うがいを実施し、マスクの着用を勧奨しました。来所時に検温して体調確認をしました。

インフルエンザ予防接種をしんまちクリニックで実施しました。

(5) 食事

業者委託による給食提供を行いました。

(6) 通所支援

マイクロバスと 8 人乗り送迎車両にて、春日井駅・八光公園、勝川駅の送迎、また、高蔵寺方面の利用者及び一部グループホーム利用者の送迎を実施しました。32 名の利用者が送迎サービスを利用しました。降車後に利用者が公用車に残されていないか確認しました。

(7) 本人会支援

利用者のエンパワメントを高める機会として、毎月本人会（せいかつ集会）を開催し、意見発表の場を設けると共に、委員会活動などが主体的に進められるよう、見守り・助言を行いました。

4 防災・防犯対策

防災及び防犯の訓練は下記のとおり実施しました。

4 月 25 日	風水害避難訓練
8 月 22 日	消火訓練（水消火器使用）
9 月 1 日	法人総合防災訓練（地震・火災想定 of 避難訓練）
12 月 19 日	緊急連絡網の確認及び配信訓練
1 月 12 日	緊急時の一斉メール送信訓練
2 月 27 日	不審者対応訓練

5 地域交流・地域貢献

春日井まつりどっこいせパレード、フライングディスク大会、いい汗流そう大会、合同クリスマス会に参加しました。福祉のつどい、緑と花のフェスティバル、センターふれあいフェスティバル、第一希望の家（きぼうフェスタ）、多治見社協（みんないっしょにふくしの日）、ハーモニーフェスでパン、菓子販売を行いました。

地域貢献活動としては、庄内川河川敷清掃（王子製紙合同アダプト）に参加しました。また、本人会活動による地域美化（ゴミ拾い）活動を、小グループ単位で実施しました。

6 その他

外部評価機関（中部評価センター）による第三者評価を受審しました。

事業報告附属明細書(障害福祉サービス事業所 わかば)

就労継続支援B型事業(定員 34 名)を提供してきました。

事業実績につきましては以下のとおりです。

なお、令和 7 年 4 月 1 日より休止していた自立訓練(生活訓練)は、利用者の確保が難しく、令和 7 年 12 月 31 日をもって廃止しました。

1 利用実績

	定員	年度	開所日	延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
就労継続支援 B 型	34 名	令和 7 年度	258 日	7,471 名	85.16%	28.95 名
		令和 6 年度	258 日	7,211 名	82.20%	27.94 名

2 利用者状況

利用開始			利用終了		
月日	人数	備考	月日	人数	備考
4 月 1 日	1 名	自立訓練より	3 月 19 日	1 名	死亡
4 月 2 日	1 名	自立訓練より	3 月 31 日	1 名	他事業所へ
8 月 1 日	1 名	他事業所より			
12 月 1 日	1 名	他事業所より			

3 支援内容

(1) 個別支援計画

計画内容に沿った適切なサービスを提供しました。作成前に保護者や利用者のニーズを聴き取り出来る限り要望に沿った内容を検討し、6 か月に 1 回見直しを行いました。

(2) 生産活動

ア 本場リネン作業

入所施設(養楽荘・はるひ荘)からの洗濯物の受注を始め、中日本リネンから布団・毛布(不定期)のクリーニング業務、医療療育総合センターの一時保護患者の洗濯業務、美容室からのタオルクリーニングの受注も行いました。不定期ではありますが、入所施設から依頼があった法被や甚平のクリーニング、特別支援学校から白布やカーペットカバーのクリーニング、高校からの作業服のクリーニングなどからの受注も行いました。今年度はそれに加えて東海財務局から車のシートカバーや防寒着などのクリーニング依頼があり受注し実施しました。

イ 分場リネン作業

入所施設(養和荘・第二養和荘)からの洗濯物の受注を中心に行ってきました。入所施設に加えて、不定期ではありますが中日本リネンから毛布のクリーニング依頼があった際は、木くず取りを行っています。また、令和 7 年 3 月よりはさま(通所施設)からバスタオル・フェイスタオルなどの洗濯物の受注が開始となりました。

ウ 内職作業

前年に引き続き、株式会社ヤガミからキューマスキの梱包作業を始め株式会社和泉からの気泡緩衝材の切断・仕分け・梱包作業、有限会社梱包屋からの毛染め用品の袋詰め作業を中心に作業を行ってきました。その他としてスポットでヤガミから修学旅行で使用する救急セットの袋詰め、小学校の理科の実験で使用するスイッチの組み立て作業、単発ではありますがみのる陶器からシール貼りの作業に取り組みました。

エ 作業収入と工賃

前年度に比べると燃料費が安定し、機械の故障頻度が減少したことで経費額が減少した為、平均工賃額が上がりました。

年度	総収入額	総経費額	工賃総支払額	平均 利用者数	月 平均工賃
令和7年度	17,489,963 円	9,442,719 円	8,047,244 円	29.0 名	23,124 円
令和6年度	16,258,714 円	10,596,021 円	5,662,693 円	28.0 名	16,853 円
対前年比	107.57%	89.11%	142.10%	103.57%	137.20%

(3) 行事について

納品日を調整し、以下の内容で行事を実施。これ以外にもハロウィン・ひなまつりには玄関の装飾を行い、雰囲気を楽しんでもらえるように取り組みました。

日付	行事名	内容
6月24日	キッチンカー	昼食会として実施。ロコモコ丼と飲み物を提供する。
10月21日	グループ外出①	のきしたカフェで昼食を食べ、午後からは消防署の見学。
10月28日	グループ外出②	
12月24日	クリスマス会	玄関前の装飾。グループ外出等の写真を現像しアルバムを作成。寄付でもらったお菓子・カバンを配付。
1月13日	餅つき	餅つき機を使用して昼食時に提供。
2月3日	節分	新聞紙で作った豆を鬼に投げる。
3月24日	慰労会	1年間の振り返りを兼ねた昼食会。ポップコーンを提供。

(4) 健康管理について

利用者の健康管理を下記のとおり行いました。

日付	実施内容
5月13日	健康診断（名古屋講習医学研究所）
11月28日	インフルエンザ予防接種

半年に1度BMIの数値を計測しています。1年を通してインフルエンザ・コロナ感染者は数名いましたが、拡大することはありませんでした。

利用者さんの高齢化が進んでいるため、保護者やGH職員と情報共有しながら健康管理の把握に努めていきます。

(5) 食事について

キッチン高森に委託し日々の食事提供を行ってきました。利用者の意見等を伝え、美味しい食事の提供に努めました。

(6) 通所支援について

家庭と事業所、拠点間の送迎を行いました。また、降車後の車内確認を行い安全に努

めました。

4 防災・防犯について

避難訓練等を定期的を実施し、わかば本場・分場共に大きな混乱や事故はありませんでした。非常食に関しても入れ替えを計画通りに行いました。消防設備点検については、消火器の使用期限が切れていたものや非常灯（一部）に関しては入れ替えを行いました。防犯については、スタッフ会議で不審者が来た時の対応など説明し、周知を行いました。

日付	実施内容
5月21日	本場 避難訓練(火災のみ)
6月11日	分場 避難訓練(火災のみ)
9月1日	本場・分場 法人総合防災(地震想定からの火災)
3月19日	不審者対応マニュアルの確認・周知(スタッフ会議内)

5 その他

外部評価機関（中部評価センター）による第三者評価を受審しました。

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 さいおワークス）

坂下町及び西尾町の2事業所において、事業を実施いたしました。

坂下町では就労移行支援事業（定員8名）を、西尾町では就労継続支援B型事業（定員20名）を実施しました。なお、就労移行支援については12月31日をもって廃止とし、令和8年1月1日就労選択支援MIRU春日井（定員10名）を開始しました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 就労移行支援事業

(1) 利用実績

定員	年度	開所日数	利用状況		
			延利用者数	利用率	1日平均利用者数
8名	令和7年度	174日	653名	46.91%	3.75名
		※4月1日から12月31日まで			
	令和6年度	256日	1,049名	51.22%	4.09名

(2) 利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
4月14日	1名	通信制高校から	6月1日	1名	在宅へ
			9月1日	1名	就労継続支援B型へ
			10月1日	1名	一般就労(はるひ荘)
			11月1日	1名	就労継続支援B型へ
			11月1日	1名	一般就労(第二養和荘)
			12月1日	1名	就労継続支援B型へ

(3) 支援内容

一般就労及び就労定着を目指して、事業所内での訓練や職場体験・実習・職場定着支援を行いました。

ア 事業所内訓練

事務系作業（パソコン作業、作業日報、物品請求書、数値チェック）、製造及びサービスに関する作業（計量、組立、物流ピッキング、ラップ掛け）、JST（職場対人技能トレーニング）を行いました。また、キューマスク袋詰め、DPD錠剤袋詰め等の受注作業も行い、工賃を受け取ることにより働く喜びと、適度な緊張を感じながら作業を行いました。

イ 就職活動

求人票の見方、履歴書や職務経歴書の作成、模擬面接を行なうなど、就職に向けての意識を高めるようにしました。また、企業説明会や面接にも付き添い、就職活動を行いました。

ウ 職場体験、実習

一般就労やA型事業所の利用に向けて、事前見学や面談を行い、職場体験や実習に臨みました。

エ 職場定着

一般就労した方については、就職後 6 か月間、就労先を訪問し、本人や企業の担当者から聞き取りを行い調整・助言を行いました。また、家族からの相談にも対応しました。

オ 作業収入と工賃

就労移行支援ですので、あくまで補助的な役割ですが、工賃は利用者の作業・訓練へのモチベーションアップにもつながっています。

年度	総収入額	総経費額	工賃総支給額	平均利用者数	平均工賃月額
令和 7 年度	114,244 円	0 円	114,244 円	3.6 名	3,526 円
令和 6 年度	176,841 円	0 円	176,841 円	4.1 名	3,594 円
前年度比	64.60%		64.60%	87.80%	98.10%

2 就労選択支援事業（MIRU 春日井）

（1）利用実績（令和 8 年 1 月 1 日～3 月 31 日）

定員	年度	開所日数	利用状況		
			延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
10 名	令和 7 年度	62 日	58 名	9.35%	0.93 名

（2）利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
1 月 5 日	1 名	通信制高校	1 月 16 日	1 名	B 型を希望
2 月 24 日	1 名	生活介護	3 月 19 日	1 名	B 型を希望
3 月 2 日	1 名	春日台特支	3 月 13 日	1 名	一般就労を希望
3 月 9 日	1 名	在宅	3 月 23 日	1 名	B 型を希望
3 月 23 日	2 名	春日台特支	4 月 3 日	1 名	A 型を希望
		春日井高等特支	4 月 3 日	1 名	一般就労を希望

（3）支援内容

就労を希望する障害のある方に対し働き方の選択に必要な情報提供・本人と共同でアセスメントを作成し、利用者が自らの特性・能力・希望に基づく進路選択ができるよう 2 週間～1 か月支援をしました。

ア アセスメントプログラム

事務系作業（作業日報、物品請求書、数値チェック）、製造及びサービスに関する作業（計量、組立、物流ピッキング）、就労事業所体験、見学を実施しました。

イ アセスメント作成

面談や作業評価を通じて、利用者の就労意欲、作業能力、対人スキル、生活リズム等を把握し、就労に関する適正及び課題の整理を行いました。その結果を基に、一般就労、就労移行支援、就労継続支援 A 型・B 型等の進路選択に関する助言と支援を行いました。

ウ ケース会議

本人、職員、各関係者（相談、先生、事業所、職員等）の参加のもとケース会議を実施しました。アセスメントと本人の希望を必要に応じて職員が代弁し、個々の状況に応じた進路選択について検討を行いました。

3 就労継続支援B型事業

(1) 利用実績

定員	年度	開所日数	利用状況		
			延利用者数	利用率	1日平均利用者数
20名	令和7年度	256日	4,838名	94.49%	18.89名
	令和6年度	256日	5,026名	98.16%	19.63名

(2) 利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
12月1日	1名	施設入所	9月1日	1名	施設入所

(3) 支援内容

施設外就労や施設内での受託作業を通し、働く喜びや達成感が得られるよう支援しました。

ア 施設外就労

第二養和荘の清掃、9月から養和荘の清掃と、春日井市から委託を受け内津公衆便所清掃（週2回、年末年始を除く）を実施しました。

イ 受託作業

協力会社6社より作業を受注し、毛染め用品のセット、梱包、ビニールロープの樹脂リングの取付け、キューマスクの袋詰め、気泡緩衝材梱包作業等に取り組みました。

なお、9月から養和荘の清掃業務の委託により、毛染め用品のセット、梱包、キューマスク、気泡緩衝材梱包については作業料金が清掃に比べ安価なため、9月をもって作業は終了としました。

ウ 作業収入と工賃

毛染め用品のセット作業、梱包作業、キューマスク作業、気泡緩衝材の梱包については、収益性が低いことに加え、納品・受領に伴うガソリン代等の経費負担があったことから、令和7年9月をもって終了としました。その後、養和荘の清掃業務を新たに受託したことで、収入が安定し、結果として工賃の増加につながりました。

年度	総収入額	総経費額	工賃総支給額	平均利用者数	平均工賃月額
令和7年度	5,010,315円	284,505円	4,725,810円	18.9名	20,837円
令和6年度	3,627,321円	396,367円	3,230,954円	19.7名	13,667円
前年度比	138.12%	71.77%	146.26%	95.93%	152.46%

(4) 給食

安心できる食材を使用した栄養バランスの良い「キッチン高森」のクックチル方式の食事を提供しました。

(5) 行事

以下の行事を実施しました。食事会等については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3密を避けるよう努めました。

日 付	行 事	開催場所
5 月 5 日	お茶会	事業所内
6 月 20 日	食事会	福祉の里
7 月 2 日	七夕	事業所内
9 月 16 日	きずなコンサート	東部市民センター
9 月 17 日	ヤナ	洞戸観光ヤナ
10 月 21 日	秋の行楽	東山動物園
12 月 25 日	クリスマス会	事業所内
1 月 20 日	新年会	事業所内

3 共通

(1) 個別支援計画

担当者 2 名を中心とし、計画内容に沿った適切なサービスを提供しました。

また、利用者・保護者のニーズを聴き取り、計画内容を就労移行支援は 3 か月、就労継続支援 B 型は 6 か月毎に見直し、次期計画に繋げるようにしました。なお、就労選択支援については支援計画の作成義務がないので作成は行っておりません。

(2) 健康管理

毎月 1 回の血圧測定・体重測定を実施しました。

5 月 23 日	健康診断
11 月 27 日	インフルエンザ予防接種

4 月に新型コロナウイルス感染により、職員 2 名、利用者 10 名が感染しました。その後、再発予防に向けて手洗い・うがい等の基本的な感染対策の再周知を行うと共に、感染症予防に関する啓発ポスターを事業所及び在宅利用者に配付しました。また、職員・利用者を対象とした手洗い講習を実施しました。

(3) 通所支援

家庭と事業所、拠点間の送迎を行い、降車後の車内確認を行いました。

4 防災・防犯対策

火災、地震の災害が発生した場合に備え、利用者の安全確保を第一に考えて行動ができるように、避難誘導訓練等を次のとおり実施しました。

月 日	訓 練 内 容
9 月 2 日	日中想定地震火災避難誘導・通報訓練 (B 型、就労移行)
3 月 9 日	日中想定地震火災避難誘導・通報訓練 (B 型、選択支援)
3 月 23 日	風水害避難誘導・通報訓練 (B 型、選択支援)

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 キッチン高森）

就労継続支援 A 型事業（定員 20 名）を実施しました。

利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、雇用契約を締結し、雇用の機会を提供すると共に、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を実施しました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 利用実績

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
就労継続支援 A 型	20 名	令和 7 年度	365 日	3,766 名	51.58%	10.31 名
		令和 6 年度	365 日	4,047 名	55.43%	11.08 名

2 利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
4 月 1 日	1 名	瀬戸つばき特別支援学校	4 月 30 日	1 名	一般就労
			7 月 15 日	1 名	一般就労

3 支援内容

（1）個別支援計画

6 か月に 1 回はモニタリングを行い、利用者・保護者のニーズを確認してより良いサービスが提供できるよう努めました。

（2）作業内容・営業時間及びサービス提供時間の状況

作 業 内 容	利用者の適性に応じた作業内容とし、主調理、盛付、配膳、食材カット、食形態加工、真空パック、洗浄作業等の業務を行います。
営 業 時 間	午前 6 時から午後 8 時
サービス提供時間	午前 6 時から午後 8 時（このうち最大 8 時間）

*3 食を提供しているため、利用者の勤務時間はシフト制にて実施しました。

（3）行事

食事会については、誕生日リクエストメニューを再開し、季節感を大切にしながら恵方巻を各自で巻くなど楽しめる会食に努めました。

（4）健康管理

年 1 回の定期健康診断、インフルエンザの予防接種を実施しました。

感染症対策及び衛生管理のため、健康状態の確認と検温、うがい、手洗い、手指消毒を徹底すると共に、事業所と送迎車の消毒・換気を定めた時間に行いました。

(5) 食事

栄養バランスや嗜好を考慮した献立をもとに、事業所内調理員にて調理を行い提供しました。

また、利用者ごとの摂取量を記録し、毎月体重やBMIを管理することで栄養面の把握に努めました。

(6) 通所支援

勤務時間等を考慮し、公共交通機関による通所が困難な利用者に対して、JR 高蔵寺駅と事業所間の送迎を実施しました。降車後に利用者が公用車に残されていないか確認しました。

4 給食等の提供状況

(1) 給食の提供

提供先	提供者区分	年間提供食数		
		令和7年度	令和6年度	前年度比
養和荘(3食)	施設入所者	77,073食	80,527食	95.71%
	短期入所者	1,911食	2,366食	80.76%
第二養和荘(3食)	施設入所者	40,019食	40,714食	98.29%
	短期入所者	166食	194食	85.56%
養楽荘(3食)	施設入所者	41,923食	42,786食	97.98%
	短期入所者	1,957食	2,648食	73.90%
はるひ荘(3食)	施設入所者	41,554食	37,127食	111.92%
	短期入所者	2,386食	4,153食	57.45%
はさま(昼食)	通所利用者	9,233食	8,848食	104.35%
わかば・わかば分場(昼食)	通所利用者	7,355食	8,192食	89.78%
さいおワークス(昼食)	通所利用者	5,003食	5,054食	98.99%
たかもり(昼食)	通所利用者	5,120食	5,411食	94.62%
合 計		233,700食	238,020食	98.18%
職員(スタッフ含む)・ボランティア・実習生		14,774食	15,090食	97.90%

(2) 弁当の提供

提供先		提供者区分	年間提供食数		
			令和7年度	令和6年度	前年度比
法人外部	第二希望の家	成人利用者	2,130食	1,899食	112.16%
		幼児利用者	145食	136食	106.61%
	少年自然の家	宿泊体験者	925食	901食	102.66%
	緑化フェスティバル		230食	244食	94.26%
	その他(福祉協会・学童等)		—	84食	—
法人内部		利用者・職員	211食	168食	125.59%

(3) 惣菜販売・食材販売

提供先	販売数		
	令和 7 年度	令和 6 年度	前年度比
カフェはなもも	1,653 個	5,826 個	28.37%

5 防災・防犯対策

火災、地震、不審者を想定した訓練を下記のように実施しました。

実施日	実施内容
6 月 20 日、7 月 18 日、 8 月 22 日、10 月 31 日	防災・防犯訓練・防災勉強会 (消火、通報、避難誘導)

6 衛生管理

衛生管理の徹底を図るため、衛生管理事業を次のとおり実施しました。

	実施時期	実施項目
利用者・職員	毎日	服装・身だしなみ・つめ・頭髪等の衛生点検
	毎月	検便
	毎月	手洗い講習
	8 月 7 日・11 月 27 日	衛生・感染症研修 (外部)
	10 月から 2 月	ノロウイルス検査 (職員)
作業所	毎月	衛生検査 (内部)
	毎月	厨房害虫駆除 (外部)
	毎月	グリストラップかご清掃 (内部)
	年 4 回	グリストラップ清掃 (外部)
	7 月 8 日・10 月 28 日	衛生ふき取り検査 (外部)

7 施設実習

特別支援学校高等部生徒及びスタッフ希望者を対象に次のとおり施設実習を行いました。

実施時期	実習者	人数
6 月 19 日～6 月 20 日	スタッフ希望者	1 名
10 月 28 日～10 月 30 日	スタッフ希望者	1 名
1 月 26 日～1 月 30 日	春日台特別支援学校高等部 2 年	1 名
1 月 26 日～1 月 27 日	スタッフ希望者	1 名
1 月 27 日～1 月 30 日	スタッフ希望者	1 名
3 月 26 日～3 月 31 日	MIRU 春日井利用者	1 名

8 その他

令和 7 年度より法人の社会貢献事業として「就労系事業所における教職員の研修受け入れ」が開始され、見学及び講話に 20 名、卒業生から教わる現場体験に 2 名の参加があり卒業生スタッフの成長と就労支援事業所の現場を伝える事ができました。